

【建コン協北陸支部のPR活動報告】

建設コンサルタント協会北陸支部 建設コンサルタントPR活動 実施報告

実施対象者：長岡工業高等専門学校 環境都市工学科
(環境都市工学科 教授 井林教授)

実施日時：令和5年7月4日(月) 8:40~10:10(1時限目)

参加人数：3年生45名(男子31名、女子14名)

配布資料：①建コンPR冊子

- ・明日の社会を創造する建設コンサルタント
- ・KenCon PRIDE 建コンで地域を創る人になろう
- ・本部 建設コンサルタントとは
- ・会員名簿

②ボールペン

実施者：真嶋統括技術委員(エヌシーイー株式会社)
伊藤河川砂防委員長(開発技建株式会社)、
長岡高専OB 板垣(エヌシーイー株式会社)

今年度も昨年度に引き続き、対面でのPR活動となりました。

建設コンサルタントの役割と仕事の事例に加え、昨今の建設業界の旬なネタとして、CIMを活用した事例や最新の災害事例等も含めて紹介しました。

皆さん真剣に聞いて頂き、また、多くの質問も頂きました。

<質問例>

- ・ひとつの業務で期間はどれくらい要するか。
- ・規模が大きく長年にわたる業務になると、担当する人は変わるか。
- ・一人当たりの業務量(件数)はどのくらいか。
- ・部署(分野、部門)は固定か。
- ・技術士の資格は最短で何歳で取得できるか。
- ・学生の頃勉強した専門科目で役に立っている科目はなにか。
- ・進路はいつ頃決めたか。

学校では、土木の専門技術に加え、機械系の科とも連携し、AI等も取り入れた授業を実施しているとのことでした。建設コンサルタント業界では、現在、DXを推進しており、こうした能力を有する人材が、今後より一層業界内に参入してくる期待感を持ってました。

また、ここ数年、建設コンサルタントを希望する学生さんが増えているとのことで、今年も多く在学生さんが建設コンサルタントに興味をもってくれることを期待いたします。

【建コン協北陸支部のPR活動報告】



【授業の様子】



以上